

# 歯内療法チーム卒直後研修プログラム 2020年度

(2019年04月01日)

## 研修プログラムの概要:

本研修プログラムでは、各関連学会の認定医、専門医の取得を目指します。日常的な歯内療法症例だけでなく、日々他院から紹介される難症例を経験し、さらに講義やプレゼンテーションによる知識の習得により、専門性の高い歯内療法医の育成を行います。

2年の経験を経た後には日本歯科保存学会認定医の取得が可能です。そこからさらに3年経つと専門医を取得することができます。

また、5年の経験を経た後には日本歯内療法学会の専門医を取得できます。

## 取得可能な専門医:

日本歯科保存学会認定医、日本歯科保存学会専門医、日本歯内療法学会専門医

## 入会する学会:

日本歯科保存学会、日本歯内療法学会

月日	研修目的	研修内容	具体的な研修ノルマ	備考
1年目 4-5月	病院における歯内療法チームの業務を把握する。	指導医のもとで見学、介助を行う。	診療件数20件	日本歯科保存学会、日本歯内療法学会に入会する。
		紹介状の対応を習得する。	返書の記載3件以上	
		マイクロスコープの使い方を習得する。	視度調整、(ヨシダ講習会の参加)	
		勉強会に参加する。(毎週火曜日)、診療の基礎についての講義を受ける。	勉強会への全出席	
6-11月	歯内療法学会、日本歯科保存学(春季大会、秋季大会)に参加。業務を継続して実施する。	患者担当、指導医のもと診療にあたる。	担当症例の治療法についてプレゼンテーション発表月1回	
		適切な診査・診断、処置方針の決定をする。		
12-翌(2年目) 12月	根管充填まで行った歯内療法症例を1つ以上経験する。	指導医のもと診療にあたる。	担当症例の治療法についてプレゼンテーション発表月1回	
	多様な治療法を経験する。業務を継続して実施する。	間接覆髄、裏層、直接覆髄、断髄、非外科的歯内療法(抜髄、感染根案治療)、アペキシフィケーション、アペキソゲネーシス、穿孔封鎖、非外科的再歯内療法(再根管治療)、外科的歯内療法(切開排膿/穿孔処置、根尖歯周組織の搔爬、根尖切除法、逆根管充填法/外科的歯根修復、生検、歯根分割/ヘミセクション、歯根切除法/ルートアンプレーション、意図的再植)、外傷、歯内療法を施された歯の修復、ポストやポストコアの除去 等		

月日	研修目的	研修内容	具体的な研修ノルマ	備考
1－ 翌(3年目) 4月	日本歯科保存学会 認定医申請(9月試験)	認定医申請資料の準備		
5－12月	日本歯科保存学会 認定医申請(4月試験)	認定医申請資料の準備		
1－3月	業務を継続して実施する。	日本歯科保存学会専門医の取得を目指す者は、歯周病、保存修復の症例を診る。	歯周病チーム、保存修復チームの担当医介助。 患者配当を受ける。 歯周病症例、保存修復症例、歯内療法症例を各1例提出を目指す。	
		日本歯内療法学会の専門医取得を目指す者は、継続して歯内療法症例を診る。	歯内療法症例5例提出を目指す。	
6年目以降	日本歯科保存学会 専門医申請 日本歯内療法学会 専門医申請	専門医申請資料の準備		